

令和8年2月11日(水・祝) 《午前》 「リーダーシップ③」

2月11日(水・祝)午前、第14期Bコース研修生を対象に、第3回リーダーシップ研修を実施しました。今回は、これまでのリーダーシップ研修の流れを踏まえ、グローバル教育推進プロジェクト代表の木村大輔氏の指導の下、研修生一人一人が「目指すリーダー像」やリーダーとしての在り方について考えました。

研修では、自分が得意とすることや、これから伸ばしていきたい力を振り返りながら、今後の行動を通してどのようなリーダーを目指していくのかを考えました。事前に研修生が回答した「リーダーのイメージ」を基に、「前に立って導くリーダー」「周囲をつなぐリーダー」「人を支えるリーダー」など、さまざまなリーダー像があることを学びました。

また、リーダーシップに必要な要素として、「相手の話を注意深く聞くこと」「責任をもって決断すること」「先を見通して行動すること」の大切さについて理解を深めました。

後半は3人1組のグループに分かれ、「挑戦しようと思うようになったきっかけとなる体験」などをテーマに、英語で自分の考えを伝え合う活動を行いました。話し手の思いに共感しながら話を「聞く」こと、そして聞いた内容についてコメントを伝えることを通して、研修生は自分自身の中にあるリーダーシップの要素にも気付くことができました。

英語を使いながら、仲間の考えを丁寧に聞く経験は、留学先で多様な価値観をもつ人々と関わる際にも大きな力となります。研修生たちは、今回の研修を通して、リーダーシップとは特別な立場の人だけのものではなく、日々の行動や関わりの中で発揮されるものであることを実感し、今後の留学生活に向けた意識を高めました。



令和8年2月 11 日(水・祝) 《午後》 「日本の伝統・文化」

2月11日(水・祝)午後、第14期Bコース研修生を対象に、日本の伝統・文化に関する研修を、港区の機械振興会館を会場として実施しました。本研修は、日本の伝統や文化、その価値について理解を深めるとともに、国際社会の中で日本に生きる一人としての自覚や誇りをもつきっかけとすることを目的としています。

研修生は、日本を離れて初めて、自国の文化や習慣が「当たり前」ではないことに気づくことがあります。他国の文化を理解し、尊重するためには、まず自国の文化を客観的に理解することが大切です。今回の研修では、その第一歩として、日本文化の背景にある考え方や価値観に目を向けました。

当日は、NPO日本文化体験交流塾副理事長の山口和加子氏を講師に迎え、「茶道」「華道」「書道」などを題材に、日本人が大切にしてきた「ものの見方」「考え方」「感じ方」、そして「美意識」について学びました。研修生が留学先で日本文化を紹介できるよう、講義はすべて英語で行われました。

講義の後は、「茶道」「華道」「浴衣の着付け」の文化体験を行いました。研修生は、講師の説明を受けながら、時には戸惑いながらも、一つ一つの所作や意味を意識して体験に取り組みました。実際に体験することで、日本文化への理解がより深まり、留学先で自分の言葉で日本文化を伝えたいという意欲も高まったことと思います。

